

もっとみらいへ 新しいみらいへ

人が賑わいを作り まちが潤い 新たなチャレンジが人をよぶ

① みらいにつながる好循環なまち

市民ニーズに応える事業により、市民満足度や市の魅力が向上し、更なる人を呼び込む、好循環なスパイラルを形成するまちを目指します。

- 居住地域の確保を推進し、均衡のとれた賑わいのあるまち
- 工業団地やスマートインターチェンジ*周辺の開発と地域特性の活用により、人が集まる魅力あふれるまち
- 主力産業である農業の支援を充実させ、農業に携わる方が夢と希望を育てるまち
- 市のPRやふるさと納税*などにより財源確保を推進する「稼ぐつくばみらい市」

子育て・子育てを応援 学びを応援 そして寄り添う支援

② あれも、これも本気の子育てのまち

妊娠から出産、子育てまでの切れ目のないサポート体制を拡充し、まちに人を呼び込み、子育て世代を中心とした、賑わいのあるまちづくりを行います。

- 子どもたちが自ら考え成長する力を育む「子育て」ができるまち
- 必要な人材・財源が教育・保育の現場に充実し、子どもたちが、安心して学び・成長できる環境が整ったまち
- 次代を担う子どもたちが活躍の幅を広げられる教育環境があるまち
- 地域の実情に応じた教育施設が適正に配置されたまち



昨日よりもっと進んだ新しい今日へ、そして新しい明日へ、
「もっとみらい」「新しいみらい」に繋がるつくばみらい市に向けてまちづくりを進めます。

市民目線・地域目線で地域の特性を生かしたスピード感

③ ど真ん中に市民がいるまち

国が全国一律で決めた政策を横並びで実施するのではなく、市民に本当に必要なことをスピード感をもって実行し、他自治体にも発信できる「つくばみらい発」の事業を展開することで、何事にも市民をど真ん中に置いたまちづくりを行います。

- 市民・各種団体・地域の隅々まで意見を伺い、市民が求めるもの、必要としていることを施策に取り入れるまち
- 地域コミュニティ*創出を支援し、市民・行政が一体となって課題や問題点を解決する、市民協働*のまち
- 新型コロナウイルス感染症対策などの喫緊の課題には、市独自の施策で市民のニーズに対応する、スピード感のあるまち

すべての人が社会で支え合うやさしさあふれる

④ 人に、社会にやさしいまち

市民、企業や各種団体などが持つノウハウや技術、サービスなどを行政運営に積極的に取り入れ、すべての人が一体となり、ALL FOR ALLで、人に、社会にやさしいまちを築きます。

- 地域や企業と行政の強い連携・協力体制により、地域全体で防災・防犯対策に取り組むまち
- 持続可能で誰もが利用しやすい地域公共交通があるまち
- 「ゼロカーボンシティ*共同宣言」に基づき、新たな地域エネルギーの創出、SDGs*を実行するまち
- デジタル化や行財政改革の推進と制度利用の支援を並行して実施する、行政サービスの利便性が高いまち